



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 シークス株式会社

上場取引所

東

コード番号 7613

URL <https://www.siix.co.jp>

代表者（役職名） CEO兼COO 代表取締役社長執行役員（氏名）平岡 和也

問合せ先責任者（役職名） CFO 取締役 常務執行役員 財務経理部長 兼 IR・広報部長（氏名）蒲田 顕久（TEL）06-6266-6415

半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 2026年9月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	150,733	5.5	5,576	16.8	6,413	34.6	4,565	45.6
2025年12月期中間期	142,914	△4.3	4,776	31.0	4,766	25.3	3,135	65.7

（注）包括利益 2026年12月期中間期 8,007百万円（－％） 2025年12月期中間期 △4,122百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	96.84	96.82
2025年12月期中間期	66.56	66.51

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	208,101	110,627	52.9
2025年12月期	207,862	103,784	49.7

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 110,042百万円 2025年12月期 103,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	24.00	—	25.00	49.00
2026年12月期	—	25.00			
2026年12月期（予想）			—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	310,000	7.1	10,500	18.6	11,500	24.6	8,200	229.5	173.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1 社 (社名) SIIX Hungary Kft.

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	50,400,000株	2025年12月期	50,400,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	3,250,607株	2025年12月期	3,262,347株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	47,142,687株	2025年12月期中間期	47,103,016株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の経済環境を顧みますと、米国では、個人消費は労働市場の減速やインフレ率の高止まりにより弱含みが続いているものの、企業の景況感は改善しており、A I 関連分野を中心に景気は底堅く推移しております。欧州では、良好な雇用環境が個人消費を支えているものの、インフレによる物価が高止まりしており、景気回復は緩やかなものとなっております。アジアにおいて、中国では、長引く不動産市場の低迷に加え、インフラ投資が一段落したことで固定資産投資が減少しており、サービス消費も弱含みで推移しています。その他のアジア各国では、個人消費等の内需の底堅さを背景に、景気は緩やかな回復基調にあります。日本では、個人消費や設備投資等の内需が堅調に推移しており、景気は緩やかに回復しております。当社グループが関連するエレクトロニクス市場では、米国の旺盛なA I 需要を背景にメモリ等の設備投資のオンショアリングが進展しており、欧州では環境対応やパワー半導体への投資により域内サプライチェーンの強化が進んだ結果、緩やかながら底堅い成長が見られました。また、中国では家電を中心とした堅調な内需の下支えがあった一方、東南アジアはEMS/ODM拠点としての役割を強め、自動化を中心とした設備投資が旺盛でありました。当社グループは、CASEやIoTといった技術革新や気候変動対策にともなう自動車・産業機器の電動化により中長期的な需要拡大が見込まれると認識しており、日系・非日系を問わず大手グローバル企業との取引拡大を図って参ります。

当社グループの当中間連結会計期間の業績については、売上高は1,507億3千3百万円と前年同期に比べて78億1千9百万円の増加(5.5%増)となりました。利益面では、営業利益は55億7千6百万円と前年同期に比べて8億円の増加(16.8%増)となり、経常利益は64億1千3百万円と前年同期に比べて16億4千7百万円の増加(34.6%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は45億6千5百万円と前年同期に比べて14億2千9百万円の増加(45.6%増)となりました。

当中間連結会計期間における業績の分析等については、セグメント別の業績および要因に記載しております。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。なお、当中間連結会計期間より、管理区分の見直しにともない、従来「調整額」に含めていた「全社(共通)」のうち「シークスエレクトロニクス株式会社」を、「日本」セグメントに含めて表示しており、前年同期との比較・分析は、変更後の区分にもとづいております。また、当中間連結会計期間において、2026年4月の出資持分の譲渡にともない、SIIX Hungary Kft.を当社の連結の範囲から除外しております。このため、当中間連結会計期間より「欧州」報告セグメントから除外しております。この結果、当中間連結会計期間においては、同社の第1四半期連結累計期間の損益のみを中間連結損益計算書に含めております。本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、中間連結損益計算書の営業利益を基礎としております。また、「売上高」にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(日本)

産業機器用部材および車載関連機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は528億3千3百万円と前年同期に比べて74億1千5百万円の増加(16.3%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は10億1千6百万円と前年同期に比べて5億5千7百万円の増加(121.4%増)となりました。

(中華圏)

情報機器用部材および家電機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は367億5千2百万円と前年同期に比べて6億5千7百万円の減少(1.8%減)となりました。

利益面では、売上高が減少したこと等により、セグメント利益は6千3百万円と前年同期に比べて4億3千3百万円の減少(87.2%減)となりました。

(東南アジア)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は558億5千万円と前年同期に比べて16億4千7百万円の増加(3.0%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は23億2千2百万円と前年同期に比べて1億4千8百万円の増加(6.8%増)となりました。

(欧州)

車載関連機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は108億6千7百万円と前年同期に比べて10億2千3百万円の減少(8.6%減)となりました。

利益面では、製造経費の削減等により、セグメント利益は2億8千1百万円となりました。(前年同期は5億6千5百万円のセグメント損失)

(米州)

産業機器用部材および車載関連機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は439億4千8百万円と前年同期に比べて69億2千8百万円の増加(18.7%増)となりました。

利益面では、荷造運賃が増加したこと等により、セグメント利益は23億1千3百万円と前年同期に比べて1億3千9百万円の減少(5.7%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて2億3千9百万円増加(0.1%増)し、2,081億1百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産6億1千7百万円の増加(1.1%増)、および受取手形、売掛金及び契約資産33億円の増加(5.6%増)等により、1,568億2千万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて38億2千9百万円減少(6.9%減)し、512億8千万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて66億3百万円減少(6.3%減)し、974億7千3百万円となりました。

流動負債は、1年内償還社債50億円の増加および短期借入金51億7千8百万円の減少(35.5%減)等により、前連結会計年度末に比べて3億2百万円増加(0.4%増)し、719億8百万円となりました。

固定負債は、社債50億円の減少(33.3%減)および長期借入金17億3千3百万円の減少(17.1%減)により、前連結会計年度末に比べて69億6百万円減少(21.3%減)し、255億6千4百万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替レートの変動にともなう為替換算調整勘定31億1千4百万円の増加(9.4%増)等により、前連結会計年度末に比べて68億4千2百万円増加(6.6%増)し、1,106億2千7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は49.7%から52.9%に増加いたしました。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間において、現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて6億1千4百万円増加(2.1%増)し、当中間連結会計期間末における資金は304億8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、74億5千2百万円(前中間連結会計期間は131億4千6百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の増加額17億3千9百万円および契約負債の減少額1億2千万円の資金減少要因に対し、税金等調整前中間純利益64億1千3百万円、減価償却費44億3千8百万円、仕入債務の増加額15億5千9百万円および棚卸資産の減少額5億3千1百万円の資金増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、8億6百万円(前中間連結会計期間は2億9千1百万円の減少)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社出資持分の譲渡による収入14億4千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、86億9千9百万円(前中間連結会計期間は101億2千1百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出額49億1千7百万円および短期借入金の純減少額21億5千万円の資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月3日に公表した2026年12月期連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更

当中間連結会計期間において、2026年4月の出資持分の譲渡にともない、SIIX Hungary Kft.を当社の連結の範囲から除外しております。なお、当中間連結会計期間においては、同社の第1四半期連結累計期間の損益のみを中間連結損益計算書に含めております。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,069	30,588
受取手形、売掛金及び契約資産	58,660	61,961
商品及び製品	21,128	22,221
仕掛品	1,646	1,927
原材料及び貯蔵品	33,716	32,959
その他	7,592	7,224
貸倒引当金	△62	△62
流動資産合計	152,751	156,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,650	18,385
機械装置及び運搬具(純額)	11,857	9,360
土地	5,172	4,894
その他(純額)	6,004	5,977
有形固定資産合計	42,685	38,618
無形固定資産	2,063	1,868
投資その他の資産		
投資有価証券	2,757	2,855
出資金	1,771	1,890
その他	5,872	6,090
貸倒引当金	△41	△42
投資その他の資産合計	10,361	10,793
固定資産合計	55,110	51,280
資産合計	207,862	208,101

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,680	43,276
短期借入金	14,602	9,423
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	2,807	1,736
その他	13,515	12,472
流動負債合計	71,606	71,908
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	10,145	8,412
退職給付に係る負債	1,106	1,171
その他	6,218	5,980
固定負債合計	32,471	25,564
負債合計	104,077	97,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,513	5,506
利益剰余金	68,807	72,193
自己株式	△6,064	△6,042
株主資本合計	70,400	73,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△177	139
為替換算調整勘定	32,961	36,076
退職給付に係る調整累計額	48	24
その他の包括利益累計額合計	32,832	36,241
新株予約権	12	12
非支配株主持分	538	572
純資産合計	103,784	110,627
負債純資産合計	207,862	208,101

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	142,914	150,733
売上原価	128,571	135,060
売上総利益	14,343	15,673
販売費及び一般管理費	9,566	10,096
営業利益	4,776	5,576
営業外収益		
受取利息	267	273
受取配当金	149	24
持分法による投資利益	56	—
補助金収入	145	70
物品売却収入	29	75
スクラップ売却益	81	168
投資有価証券売却益	—	311
その他	235	574
営業外収益合計	965	1,499
営業外費用		
支払利息	472	310
持分法による投資損失	—	104
為替差損	255	78
物品購入費用	8	10
その他	239	159
営業外費用合計	975	662
経常利益	4,766	6,413
税金等調整前中間純利益	4,766	6,413
法人税、住民税及び事業税	2,079	1,541
法人税等調整額	△437	307
法人税等合計	1,642	1,849
中間純利益	3,124	4,564
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△10	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	3,135	4,565

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	3,124	4,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	316
為替換算調整勘定	△7,077	3,073
退職給付に係る調整額	7	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	△128	67
その他の包括利益合計	△7,246	3,442
中間包括利益	△4,122	8,007
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△4,078	7,973
非支配株主に係る中間包括利益	△43	33

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,766	6,413
減価償却費	4,553	4,438
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△0
受取利息及び受取配当金	△417	△298
支払利息	472	310
為替差損益(△は益)	468	△68
持分法による投資損益(△は益)	△56	104
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	2,431	△1,739
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,676	531
未収消費税等の増減額(△は増加)	49	△9
仕入債務の増減額(△は減少)	△695	1,559
契約負債の増減額(△は減少)	△1,270	△120
その他	△323	△1,353
小計	14,648	9,765
利息及び配当金の受取額	422	290
利息の支払額	△584	△348
法人税等の支払額	△1,340	△2,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,146	7,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,250	△1,300
有形固定資産の売却による収入	368	154
無形固定資産の取得による支出	△117	△89
貸付けによる支出	△9	△5
貸付金の回収による収入	9	71
投資有価証券の売却による収入	—	410
関係会社株式の取得による支出	△230	—
連結の範囲の変更を伴う子会社出資持分の譲渡による収入	—	1,446
補助金の受取額	69	—
その他	869	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291	806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,056	△2,150
長期借入れによる収入	1,299	—
長期借入金の返済による支出	△2,881	△4,917
配当金の支払額	△1,129	△1,179
社債の償還による支出	△5,000	—
その他	△354	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,121	△8,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,549	1,054
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,183	614
現金及び現金同等物の期首残高	21,769	29,793
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,953	30,408

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,125	27,340	45,986	11,311	30,150	142,914	0	142,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,293	10,068	8,216	579	6,869	43,028	△43,028	—
計	45,418	37,409	54,203	11,891	37,020	185,942	△43,028	142,914
セグメント利益 又は損失(△)	459	497	2,173	△565	2,452	5,016	△240	4,776

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△43,028百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△240百万円の内訳は、セグメント間取引消去216百万円、全社(共通)の区分の営業損失△457百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	33,767	27,456	46,683	10,358	32,466	150,733	0	150,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,066	9,295	9,166	509	11,481	49,519	△49,519	—
計	52,833	36,752	55,850	10,867	43,948	200,253	△49,519	150,733
セグメント利益	1,016	63	2,322	281	2,313	5,997	△420	5,576

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△49,519百万円は、セグメント間取引消去等であります。

(2) セグメント利益の調整額△420百万円の内訳は、セグメント間取引消去△8百万円、全社(共通)の区分の営業損失△412百万円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、管理区分の見直しにともない、従来「調整額」に含めていた「全社(共通)」のうち「シークスエレクトロニクス株式会社」を、「日本」セグメントに含めて表示しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の減少による資産の著しい減少)

当中間連結会計期間において、2026年4月の出資持分の譲渡にともない、SIIX Hungary Kft.を当社の連結の範囲から除外したこと等により、前連結会計年度末に比べて「欧州」のセグメント資産が50億6千7百万円減少しております。